

課題 NO.7 意見交換会

5月21日(金曜日)・午後2:30~5:00 @ Google Meet

参加者: 菅野、洲鎌、仲田、森高、田村(直)、鈴木(康)、鋤持、横山、坂本、登田、佐竹、伊藤(篤)、河村、居田、永岡、沼波

課題7の趣旨説明(沼波)

課題7「制御可能な複雑系に潜む普遍性・特異性の探究」について概要と趣旨を説明した。

- “制御可能な”複雑性科学である核融合科学を通じて、プラズマ実験、理論、第一原理計算、データ科学により、複雑系に潜む普遍性と特異性を明らかにする。
- 制御可能な複雑性科学」である核融合科学を通じて、10年後に複雑性研究の新しい分野がスタートしていることを目指す。

意見交換(参加者)

- 複雑系の新たな理論(支配方程式)を見出すことを目的とするのではなく、基礎方程式の導出における仮説の妥当性検証とその類似性の発見を目的にしてはどうか。
- 「制御」には、制御工学からのイメージもあり、ニュアンスが異なるため、代替ワードを考えてみてはどうか。
- 課題3と関連して、系のパラメータ空間が持つLandscapeを明らかにすることも重要。
- 実験でも輸送と温度、温度勾配にLandscape (temperature branch)が見つかっている。(Ida+, PRL2006; JPSP2008)
- 実験・理論研究者の割合や、設定する研究期間によっても、設定するテーマは変わる。
- 時流に乗る、movementを創るという視点も重要。

次回

- 次週(5/24の週)に、再度、意見交換を行う。